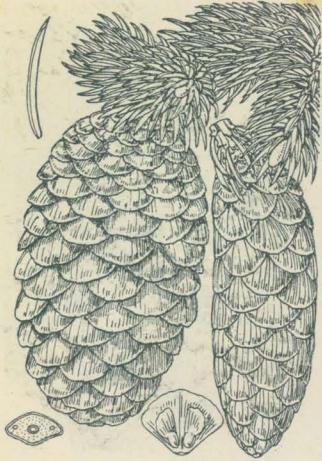


第 2722 圖

まつ科



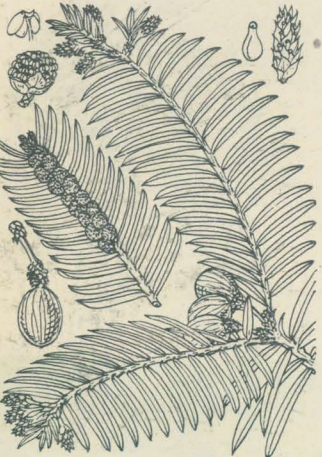
はりもみ 一名ばらもみ

*Picea polita Carr.*

中部以南ノ山地ニ生ズル常緑喬木。幹ハ亭々トシテ聳立シ高サ10-30m餘、直径1mヲ算シ、枝條ハ平開シテ針葉多ク、嫩枝ハ黄褐色ヲ呈シテ光澤アリ、乾燥スレバ容易ニ落葉シテ枝面ニ突起セル顯著ノ葉枕ヲ殘留ス。葉ハ長サ2cm内外アリテ多數相接シテ開出シ、粗針狀ヲ成シ先端ハ甚ダ鋭キ刺ヲ有シ、四稜アリテ背腹ヨリモ左右ノ方幅廣ク、上半部内方へ彎曲シ、質極メテ剛硬、深綠色ヲ呈シ表裏ヲ區別シ得ザルモ其断面ハ顯著ナル菱狀四角形ヲ成スヲ以テ直ニ本種ヲ認識スベシ。雌雄同株ニシテ六月ニ開花ス。雄花ハ小枝ニ出デテ黄色花粉ヲ糝出シ、雌花亦小枝梢ニ出デテ綠色ナリ。毬果ハ褐色ノ長橢圓形ヲ呈シ乾キテ鱗片寬ク開ケテ橢圓形ト成ル、長サ10cm許、枝端ニ點頭ス。種鱗ハ倒卵狀圓形ヲ成シ縁ニ不整ノ細齒アリ、熟スルモ脱落セズ。苞鱗ハ線形ニシテ小サシ。種子ハ廣翼アリ。和名ハ針もみニシテ銳針狀ノ葉ニ基テ云ヒ、棘もみモ亦同義ナリ。

第 2723 圖

いぬがや科



いぬがや 一名へぼがや・へだま

*Cephalotaxus drupacea*

*Sieb. et Zucc.*

山地又ハ平地ノ林樹ニ混ジテ生ズル常緑灌木或ハ小喬木ニシテ大ナル者ハ高サ10m、徑30cm内外ニ達ス。樹皮ハ暗灰褐色ニシテ淺ク縱裂シ、薄片ト成リテ脱剝シ枝極ハ横ニ擴ガリ、小枝ハ綠色ニシテ枝面ニ溝アリ。葉ハ深綠色ニシテ密ニ枝ニ着キ直立セル主脈ニテハ螺旋狀ニ互生スルモ側枝ニテハ兩側ニ互生シ二列ニ展開シテ羽狀ヲ呈シ、線形ニシテ先端ハ急鋭尖、質堅カラズ、長サ3-5cm内外アリ、下面中脈ノ兩側ニ白色ノ氣孔條アリ。雌雄異株ニシテ三四月ノ候ニ開花ス。雄花ハ短梗ヲ有シテ葉腋ニ生ジ六乃至九花ヨリ成リテ球形ヲ成シ葉下ニ排列シテ向シ黄色ヲ呈シ褐色ノ鱗片ニ覆セラレ、一花ニ七乃至十二箇ノ雄蕊アリ。雌花ハ小枝端ニ二三アリテ短柄ヲ具ヘ綠色ヲ呈シ球形或ハ橢圓形ヲ成シ苞鱗ニ二卵子アリ。果實ハ核果樣ノ種子ヨリ成リ一類稀ニ二顆成果シ梗端ニ倒卵形又ハ橢圓形ヲ成シ長サ1.5-2.5cmアリ、外種皮ハ初メ未熟ノ時綠色ナルモ成熟スレバ帯紅紫色ト成リ皮汁甘ク、内種皮ハ堅キ核樣ヲ呈シテ二稜ヲ成シ兩端尖レリ。胚乳ヨリ搾レル油ハ燈用・理髮用ニ用ケラル。一變種ニハいぬがや (var. nana Rehd. = C. nana Nakai.) アリ、基部ヨリ傾上シテ立ち高サ2m許ニ達シ果實ハ橢圓形ヲ呈シ淡紅紫色ニ熟シ甘汁アリテ食フベシ、中國ノ山中ニ多シ。和名大がやハかやニ似タリト雖モ其仁苦ク食フニ堪ヘザルヲ以テテスク云ヒ、平凡がやモ同意、屁玉ハ其圓キ實ニ臭氣アルヲ以テ云フ。漢名粗榦 (蓋シ誤用)

第 2724 圖

いぬがや科



てうせんまき

一名 てうせんがや・たうがや

*Cephalotaxus drupacea Sieb. et Zucc. var. koraiana Makino.*

(=Podocarpus koraiana Sieb. ; C. drupacea Sieb. et Zucc. var. pedunculata Miq. forma fastigiata Pilg. ; C. pedunculata Sieb. et Zucc. var. fastigiata Carr. ; C. Buergeri Miq. ; C. drupacea Sieb. et Zucc. var. Buergeri Maxim.)  
いぬがやノ一變種ニシテ觀賞樹トシテ庭園ニ栽培セララル常緑灌木。高キ者ハ3mニ達シ、小ナル者ハ1m内外アリ、多枝叢出シ、直立シテ長ク、枝面無毛綠色ニシテ溝アリ。葉ハ螺旋狀ニ排列シ、長短ノ兩葉群若干ノ間隔ヲ成シテ交互シ、深綠色ヲ呈シ瘦線形ヲ成シテ短ク尖リ開出シテ下方ニ弓曲スルヲ常トシ質厚ク長サ2-5cm許アリ、株上ニ時トシテ所謂先祖還リヲ現ハシ二列羽狀葉アル枝ヲ出シ其母種ノいぬがやナル證ヲ自然ニ示ス事アルヲ見、又稀ニ其中間型ノ葉アル枝ヲ生ズル事アリ、而シテ未ダ曾テ花實ヲ生ゼシヲ見シコト無シ。和名朝鮮まきハ舊來ノ名ニシテてうせんがやノ名ハ近代人ノ作ナリ、此朝鮮まきハ本品ヲ朝鮮品ト思惟シ此ク云ヒシナラン、又唐がやモ亦同様支那品ト信ゼシニ因ル。

らかんまき (羅漢松)

*Podocarpus chinensis Wall.*

(=P. macrophylla D. Don var. chinensis Maxim. ; P. Maki Sieb. ; P. macrophylla D. Don var. Maki Sieb. ; P. macrophylla D. Don subsp. Maki Pilg.)

支那ニ産シ又我邦九州南部琉球ニ自生スル常緑喬木ニシテ廣ク庭園ニ栽植セラレ又近海地方ニテハ之レヲ藩籬トス。幹ハ直立シ高サ5m内外、枝多ク葉繁シ、小枝ハ真直ニシテ稍疎ナリ。葉ハ密ニ互生シテ四方ニ發出シ廣線形或ハ線狀披針形ニシテ長サ5-8cmアリ、質厚ク、深綠色ヲ呈シ先端鋭頭、底部銳尖シテ短柄ト成リ、中脈ノミ兩面ニ隆起シテ著シ。雌雄異株。五月開花ス。雄花ハ長サ5cm内外、二三箇葉腋ニ束生シ長圓柱形ヲ成シ開出且斜垂シ黄白色ヲ呈シ、雄蕊多數ニシテ三角狀ノ苞鱗ニ出デテ二藥胞アリテ縱裂ス。雌花ハ梗納アリテ前年枝ノ葉腋ニ獨生シ、卵子ノ下ニハ大ナル花托アリテ其基部ニ鱗片四箇ヲ有シ、後テ秋ニ入り成熟スレバ花托ハ肥大シ肉質ト成リテ紅熟ス。種子ハ廣橢圓形、青綠色ニシテ白霜ヲ帶ブ。本種ハいぬまきニ比スレバ葉短ク且密生シ上向シテ斜下スルコト無キヲ以テ區別シ得ベシ。本種ハ學者ニ由テ或ハいぬまきノ變種トモ又其亞種トモ又獨立種トモ考ヘラル。和名羅漢まきハ其漢名ニ基ツキ羅漢ノ其狀佛體ノ如ケレバ云フ。

第 2725 圖

いぬがや科



いぬまき

一名 くさまき・ほんまき・まき

*Podocarpus macrophylla D. Don.*

(=Taxus macrophylla Thunb.)

暖地ノ山林中ニ生ズル常緑喬木ニシテ幹ハ直立シ、高サ20m、徑30-60cm許アリテ枝ハ擴張シ老樹ニ在テハ小枝ハ往々下垂ス、樹皮ハ灰白色ヲ呈シ淺ク縱裂シ薄キ剝片ト成リテ脱落ス。葉ハ枝上ニ互生シテ稍密ニ着キ扁平ナル線形或ハ狹披針形ニシテ長サ10-15cm、幅8-12mm許アリ、先端鈍頭ヲ呈シ全邊ニシテ革質ヲ成シ上面深緑、下面淡綠色ニシテ一條ノ隆起セル中脈ヲ具フ。雌雄別株。五月開花ス。雄花穂ハ短梗ヲ有シテ小枝ノ側方ニ腋生シ三五ノ細長ナル圓柱形ヲ成シテ黄白色、苞鱗ニ縱裂スル二藥ヲ具ヘ黄花粉ヲ吐ク。雌花ハ葉腋ニ出デテ小梗ヲ具ヘ綠色ノ花托ヲ有シ其基部ニ鱗片ヲ具フ。種子ヨリ成ル果實ハ略ガ球形ヲ呈シ十月ノ候ニ熟シテ綠色ト成リ、其下部ノ花托ハ膨大シテ倒卵形ヲ成シ暗紅色ヲ呈シテ甘ク食スベシ。和名まきハ圓木(まき)ノ略ト謂ヘ如何、昔時すぎヲまきト稱ヘシヲ以テ本種ヲ卑ンデまきト呼ビシナラン今ハ單ニまきト稱ス。本まきハまきノ正品ノ意、臭まきハ其材臭ケレバ云フ。俗ニ榎ノ字ヲ用フ。

第 2726 圖

いぬがや科



なぎ (竹柏)

一名 ちからしば・べんけいのちからしば

*Podocarpus Nagi Zoll. et Moritzi.*

(=Myrica Nagi Thunb. ; P. Nageia R. Br.)

暖地諸州ノ山中ニ自生スト雖モ又通常庭樹トシテ栽植セララル常緑ノ直立喬木ニシテ其大ナル者ハ幹ノ高サ20m、徑60cm餘ニ達シ、樹皮ハ平滑ニシテ帶褐紫色ヲ呈シ枝極多ク葉葉密ナリ。葉ハ披針形又ハ橢圓狀披針形ニシテ對生シ、鈍頭、狹底、全邊、長サ約6cm、幅2cm内外、二十乃至三十條ノ葉脈縱走シテ主脈無ク質厚クシテ強韌、上面ハ光澤アル濃綠色下面ハ帶綠黄色ナリ。雌雄別株。雄花ハ圓柱狀ノ花穂ヲ成シテ黄白色ヲ呈シ三四箇葉腋ニシテ短梗ヲ有シ尖リタル苞鱗上ニ縱裂スル二藥アリ。雌花ハ短梗ヲ有シ梗上ニ小形ノ數苞片アリテ卵子ハ倒生シテ倒卵形ヲ呈ス。一種子ヨリ成ル果實ハ十月ニ熟シテ球形ヲ成シ徑10-15mm許、外種皮ハ帶粉藍綠色ニシテ稍肉質、内種皮ハ骨質ニシテ白色ナリ、地ニ落ッレバ生シ易ク、子葉二片アリ。一變種ニラウチユキなぎ (var. caesia Makino = P. caesia Maxim.) アリ其葉粉白色ナリ、然レドモ往々常品ト連絡スルヲ以テ今之レヲ forma caesia Makino ト爲ス。和名なぎハ其葉狀ニつぶふひ科ノなぎ即チユキなぎニ類スルヨリ云フナラント謂ヘリ、力シバハ其葉強韌ニシテ引切レ難キヲ以テ云ヒ、辨慶ノ力シバハ辨慶ノ力ヲ以テシテモ容易ニ切レ難キヲ云フ。榎ハ俗字ナリ。

第 2727 圖

いぬがや科

